

令和 8 年度 第 1 回

結城南中学校区新設校推進委員会議事録

結城市教育委員会

令和 8 年度 第 1 回 結城南中学校区新設校推進委員会議事録（要旨）

○日 時 令和 8 年 8 月 2 0 日（木曜日）午後 6 時 0 0 分から午後 7 時 4 0 分

○場 所 結城市役所 4 階 大会議室 1・2・3

○出席委員 副委員長 湯本 勝洋 委員 安達 賢 委員 仲見川 有紀子
委員 鈴木 敦子 委員 西村 孝幸 委員 本橋 裕子
委員 坪野 広孝 委員 北島 宏章 委員 石崎 裕子
委員 吉野 春樹 委員 飯村 仁士 委員 上田 哲弘
委員 島田 潤 委員 山中 淳一 委員 栗原 隆雄
委員 池田 浩一 委員 野村 勇 委員 平間 高之
委員 古澤 一明 委員 稲葉 敏次 委員 立川 博敏
委員 上野 豊

○教育委員会事務局

市長 小林 栄

教育長 黒田 光浩

教育部長 河田 圭一郎

学校教育課長 和泉田 真 参事兼教育支援課長 藤田 清一

課長補佐兼施設係長 阿久津 智宏

学務係長 山口 明良 教育政策推進係長 田所 將之

教育政策コーディネーター 杉本 尚志

主事 大川 泰生

●次第

委嘱状交付

1 開会

2 市長あいさつ

3 委員長及び副委員長について

4 議事

（1）結城南中学校区新設校に関する経緯について

（2）児童数及び入学予定者数の推計について

（3）今後の結城市学校適正配置の検討体制について

（4）その他

5 その他

6 閉会

○要旨

委嘱状交付

1 開会

2 市長あいさつ

- ・推進委員の皆様には、令和４年度から今日まで結城南中学校区新設校の実現に向け、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。
- ・新設校建設に必要な事業費について、令和７年度当初予算、同年９月補正予算、そして令和８年３月補正予算と三度にわたり、市議会へ提案をしたが、ご理解をいただくことができず、事業を予定通り進めることができなかった。
- ・これまでの検討過程や、多くの皆様のご協力や期待に応えることができなかったことと思うと非常に心が痛く、私自身その責任を重く受け止めている。
- ・新設校の実現を心待ちにされていた保護者、地域の皆様そして何より子供たち、さらには今日までご尽力をいただいた皆様方に対し、ご期待に沿うことができなかったことを深くお詫び申し上げます。
- ・私はこの数年間にわたり、積み重ねてきた議論や検討、そして子供たちによりよい教育環境を提供したいという思いが無駄になったとは考えていない。
- ・新設校で目指した小中一貫教育の充実、多様な学びへの対応、そして地域とともに歩む学校作りを活かし、市全体に共通する重要な課題である教育環境の課題解決に向け、保護者や地域の皆様、市議会の皆様とともに丁寧に対話を重ね、将来を見据えた検討を進めていく。
- ・子供たちにとって何が最善なのかを第一に考える姿勢は決して変えず、新設校で培ってきた理念や成果を大切にしながら持続可能な教育環境の実現に向け全力で取り組んでいく。
- ・本日ご参加いただいております推進委員の皆様には、ぜひ市の意向にご賛同を賜り引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

3 委員長及び副委員長について

- ・これまでの経緯を踏まえ、学識経験者として常盤大学の小島委員に引き続き委員長を務めていただきたいと考えていたが、令和８年３月末日付けでご本人より辞任の届け出があったので今年度は委員長を欠員とする。
- ・副委員長については地区内の小中学校を取りまとめている結城南中学校の湯本委員にお願いする。

4 議事

(１) 結城南中学校区新設校に関する経緯について

【事務局説明】(※一部抜粋)

- ・本市の学校適正配置等を始める背景として、近年の児童生徒数の減少により、人間関係の固定化、多様な価値観に触れる機会の減少などの懸念があり、令和３年１月に、結城市学校適正配置等検討委員会を組織して計６回の会議を開催し、令和４年１月に結城市学校

適正配置等に関する提言書を提出いただいた。

- ・この提言を受け、市及び市教育委員会は、令和 4 年 3 月に具体的な統合時期などを示した結城市学校適正配置等に関する方針を策定した。

- ・この方針の概要は学級数を小学校が 12 から 18 学級、中学校が 9 から 18 学級を適正規模とし、結城南中学校区にある小学校 5 校を 1 校に統合して結城南中学校との小中一貫教育に適した位置に新設校を設置する方針を決定し、結城南中学校区の適正規模化を最優先に進めることにした。

- ・令和 4 年 6 月に結城南中学校区新設校推進委員会を設置して、アンケート調査等を実施し主に基本構想や基本計画、設計内容などについて協議を重ね、令和 5 年 3 月に結城南中学校区新設校基本構想基本計画を決定した。

- ・議員の皆様とも合意形成を図るべく、令和 6 年 1 月には結城南中学校区新設小学校についての勉強会を、同年 2 月には結城南中学校区新設校建設等、概算事業費及び財源に関する説明会を開催し、概算事業費とその財源内訳及びスクールバス運行経費の試算などの経費見込みについて説明をさせていただいた。

- ・これらの審議経過を踏まえ、同年 3 月に結城南中学校区新設小学校の基本設計が完了したことを 4 月に市議会に報告させていただき、5 月には市議会からご意見をいただいた概算事業費に係る本市の財政状況への懸念を踏まえ、再度、結城南中学校区新設校概算事業費等に関する説明会を開催し、校舎面積の削減や設備等の見直しなどにより、概算事業費を圧縮するとともに、基本設計後に生じた変更作業に伴う実施設計の遅延や、資材不足に起因する納期の延長などの理由から開校時期を令和 10 年 4 月とする旨を併せてご説明させていただいた。

- ・令和 6 年 12 月市議会においては、1,532 人の署名を添えて、結城南中学校区の小学校 5 校が、新設校へ速やかな統合の実現をしていただきたい。といった内容の請願が提出され、議会において採択された。

- ・令和 7 年 2 月に開催した市議会説明会において、令和 7 年度当初予算に工事費等を計上するに当たり、総額事業費並びに新設校を建設した際の健全化判断比率等の推移及び公債費・起債残高の推移についてご説明をさせていただいた。

- ・令和 7 年 3 月市議会において、令和 7 年度から令和 9 年度までの 3 か年継続事業費 44 億 1,458 万 8 千円を、令和 7 年度当初予算として、新設校建設工事監理委託料 1,906 万 9 千円新設校建設工事 13 億 493 万 1 千円などの新設校建設に関する予算を上程させていただいたが、当該部分を削除する修正案が提案され、可決される結果となった。

- ・市及び市教育委員会としては、市議会からの修正案の提案理由にあった、市財政への影響を最大の懸案と捉え、いち早く事業費の圧縮を図り市議会にお知らせし、検討していただく必要があると考えたため、実施設計変更業務委託を発注し、既存の中学校体育館の有効活用を図り、小学校体育館を削除する設計内容に変更し、令和 7 年 5 月に開催した市議会説明会において、学校建設事業費を概算で 36 億 7,300 万円に圧縮することをご説明させていただいた。

- ・令和 7 年 9 月には市長及び市議会議長宛てに、地域住民等 2,545 人、保護者等 1,032 人の署名を添えた要望書が提出されており、9 月市議会において、体育館を削除した 36 億 7,289 万円の 3 か年継続費のほか、手数料、委託料、工事請負費からなる結城南中学校区新設校建設事業費 11 億 360 万円を補正予算として上程させていただいたが、再度、当該部分を削除

する修正案が可決される結果となった。

- ・令和 8 年 3 月市議会においては、9 月市議会に提案した内容を踏襲し、再度追加議案により補正予算として議会に上程させていただいたが、否決という結果になった。
- ・事業実施における財源の国庫補助金については、補助金の要望自体は、建設事業実施予定年度の前年度から行うものとなっている理由から、令和 6 年度に事前に次年度要望を行い、令和 7 年度に文部科学省から補助金の内定を受け、交付申請を行い、令和 7 年度から令和 9 年度までの 3 か年総額で 11 億 3,418 万 5 千円の交付決定を受けていたが、令和 7 年度当初予算、令和 7 年 9 月補正予算、令和 8 年 3 月補正予算の三度の市議会における審議の結果、新設校建設事業の予算措置が伴わなかったことから、計画通りの事業遂行は困難と判断し、県と協議を行い、文部科学大臣宛てに交付決定の取消しを申請し、取消しの決定をいただいている。
- ・現状では、結城南中学校区の学校再編につきましては未定となっており、再検討する旨のお知らせを、市ホームページや SNS に掲載しているほか、保護者宛てに市長メッセージの文書を配付し、動画サイトによるメッセージ動画を配信させていただいている状況である。

【意見】

- ・順調であれば、去年の 4 月に本当は開校の予定だったのが、延期になり、そして市議会でも否決され今、止まっている状態だが、建築資材の高騰や中東情勢などで、これからやろうとなると予算が約 1.5 倍かかるのではないかと。そのことを、市議会の方はどう考えていたのか。

【意見に対する事務局の回答】

- ・ご指摘のとおり、物価高騰、社会情勢等で建築資材は 1.5 倍程度になるのではないかと考えている。
- ・いただく予定だった国の補助金も物価高騰などに合わせて上げていただく見込みなので、市の最終的な負担は多少増えるとは思いますが、大きくならないようにいろいろな財政の措置を考えていきたい。

(2) 児童数及び入学予定者の推計について

【事務局説明】

- ・児童数及び入学予定者数について、文部科学省が毎年 5 月 1 日現在で実施している、統計法に基づく日本の学校に関する基礎的な統計調査及び住民基本台帳の出生数を基に算出している。
- ・絹川小学校の令和 8 年 5 月 1 日現在の全校児童数及び入学者数並びに令和 14 年度の全校児童見込み数及びに入学予定者数の見込みを説明。
- ・江川北小学校の令和 8 年 5 月 1 日現在の全校児童数及び入学者数並びに令和 14 年度の全校児童見込み数及びに入学予定者数の見込みを説明。
- ・江川南小学校の令和 8 年 5 月 1 日現在の全校児童数及び入学者数並びに令和 14 年度の全校児童見込み数及びに入学予定者数の見込みを説明。
- ・山川小学校の令和 8 年 5 月 1 日現在の全校児童数及び入学者数並びに令和 14 年度の全校児童見込み数及びに入学予定者数の見込みを説明。

- ・上山川小学校の令和 8 年 5 月 1 日現在の全校児童数及び入学者数並びに令和 14 年度の全校児童見込み数及びに入学予定者数の見込みを説明。
- ・結城小学校の令和 8 年 5 月 1 日現在の全校児童数及び入学者数並びに令和 14 年度の全校児童見込み数及びに入学予定者数の見込みを説明。
- ・城南小学校の令和 8 年 5 月 1 日現在の全校児童数及び入学者数並びに令和 14 年度の全校児童見込み数及びに入学予定者数の見込みを説明。
- ・結城西小学校の令和 8 年 5 月 1 日現在の全校児童数及び入学者数並びに令和 14 年度の全校児童見込み数及びに入学予定者数の見込みを説明。
- ・城西小学校の令和 8 年 5 月 1 日現在の全校児童数及び入学者数並びに令和 14 年度の全校児童見込み数及びに入学予定者数の見込みを説明。

【意見】

- ・すべての学校で入学予定者が減るのは目に見えているので、統合して新しい学校を作る必要がある。
- ・令和 14 年度まで見込みの人数を示していただいたが、この先の令和 15 年度以降はどこまで見込み数をあげられるのか。
- ・絹川小学校の結城南中学校に入ってくる令和 14 年度入学予定者の見込み数をご説明いただいたが、結城東中にはその人数は出ていないので令和 14 年度で考えれば、絹川小学校の入学予定者の見込み数は、これより減って、結城南中学校区のどの小学校からも一桁しか入ってこないと考えていいか。

【意見に対する事務局の回答】

- ・令和 14 年度の入学予定者は令和 7 年 4 月 2 日生まれから令和 8 年 4 月 1 日生まれの出生数から算出した人数である。この後の令和 15 年以降は出生数が確定していないので見込み人数を出すことができない。令和 15 年度以降は、この人数をなるべく維持していくようなイメージで考えている。
- ・絹川小学校に関しては中学校に進学時に、結城南中学校と結城東中学校で学区がわかれている。大体の目安として半々ぐらいの児童がそれぞれの中学校に進学すると仮定すると結城南中学校に進学する絹川小学校の児童数が減るという認識で間違いない。

【意見に対する市長の回答】

- ・行政としては若い人たちに結城に住んでもらいたいということを念頭に様々な政策を検討・実施しているところである。その一つが、来年 4 月から結城南中学校区域を主に、一般住宅が建てられるように区域指定制度を導入する予定であり、現状よりは家を建てやすくすることによって若いご夫婦が結城南中学校区に家を建てる機会が増えると思っている。
- ・新しい工業用地を今、造成をしており、土地を購入いただいた大きな会社がある。
- ・この会社の結城の工場を稼働させるためには、神奈川県と茨城県に工場から社員さんを結城に連れてこないとい工場が稼働しないので、引っ越してくる社員さんがいると見込んでいる。
- ・社員さんの中には当然お子さんがいらっしゃる方もいる。社員さんたちが結城に住んでもらえるような方策を検討している。

・結城で子育てをしたい方を増やしたく、様々な努力を重ねており、魅力ある学校づくりが街づくりの一つとしても大きな課題だと思っているので、1人でも多くの人たちを結城に住んでもらえるように努力を重ねたい。

（３）今後の結城市学校適正配置の検討体制について

【事務局説明】（※一部抜粋）

・これまで結城市学校適正配置等に関する方針に基づいて、結城南中学校区の学校再編を最優先に検討、推進してきた経緯があるが、方針決定から約４年半が経過した現在、本方針に沿って結城市中学校区及び結城東中学校区においても具体的な検討を始めなければならない段階にあると考えている。

・本市では今後、想定をはるかに上回る児童生徒数の急激な減少が見込まれており、小中学校の学校再編の必要性は、結城南中学校区に限ったものではなく、市全体の教育環境に関わる喫緊の課題であり、市の行財政運営に影響を与える重大な案件である。

・これらの理由から、今後の学校再編は、本市の児童生徒のよりよい教育環境の整備と充実を第一に考え、総合的な視点により進める必要があることから、市内全ての中学校区において、学区ごとの適正配置に関する検討委員会を設置したい。

・市における各種事業の進捗、今後の児童生徒数の推計、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増大や財政状況などについて勘案し、現行の結城市学校適正配置等に関する方針や、基本計画、基本構想の見直しや策定等を実施し、状況に応じて推進委員会や統合準備委員会等の組織へ移行する。

・保護者や地域の方のご意見を伺うための意見交換会の開催などを随時検討するほか、市議会や市民の皆様に対する検討状況の報告や進捗に関する説明を丁寧に行う。

・結城南中学校区の学校再編は再度検討する段階になるが、これまで数年間にわたり積み重ねてきた議論や成果を無駄にせず、児童生徒に対する教育の質の向上や、より良い教育環境の整備を第一に考え、市議会議員の皆様や児童生徒、保護者、地域の皆様の声を十分に伺ったうえで、学校建設の手法も一つとして考慮し、本市が目指すべき方向性を改めて関係する皆様と議論していきたい。

【意見】

・新設校の開校を待たずに今のうちから、段階的に統合する方向性も検討してほしい。

・今、宿泊学習を５校一緒にやっているが、現地への移動で使われている観光バスも保護者の負担になるので移動の方法なども検討してほしい。

・小規模特認校は考えていないのか。

・子どもたちから直接意見を聞く場を設けてほしい。

・新設校に反対の議員の方を委員として入れ、話を聞くことはできないか。

・新設校を作る可能性があるのに、統合される学校の体育館にエアコンを設置するのは無駄ではないか。

・新設校を建てるができなかった場合の想定をするべきだったのではないか。

・動き出して５年経っているのに市議会はなぜブレーキをかけるのか。

・学校再編だけをするのではなく、人口を減らさずに増やす必要がある。

・新設校を作ることが子育てしやすい結城市につながると考える。

- ・ただ反対の意見を出すのではなく、やるためにはどのようにすればいいか建設的な意見が欲しい。
- ・新設校が参考にした明野五葉学園の児童生徒数の推移はどのようになっているのか。

【意見に対する事務局の回答】

- ・段階的な統合は推進委員会から戻した検討委員会の中で議論させていただきたい。
- ・小規模校だと、学校行事の一人当たりの負担が大きくなることは承知しているので、平準化できるような政策も考えていきたい。
- ・子供たちの意見を吸い上げる場も設定していく。
- ・委員の人は基本的には所属する団体に依頼をして、推薦していただいている。市議会であれば、市議会議長宛てに議会で人選していただいているので賛成反対を含めた方がいいと議長が判断するならば、推薦していただけると思っている。
- ・中学校体育館の空調設備の設計段階は完了しているので、来年度から工事を実施する予定であるが、小学校に関しては統合の関係から進められていない。
- ・新設校を建てるだけでなく、今の子どもたちに何ができるのかを考え直して今後の方向性を再度考えていく。
- ・明野五葉学園が開校から2、3年経っての児童生徒数の推移は資料等がないので、調べてご報告させていただく。

【意見に対する教育長の回答】

- ・小規模特認校は今までも議論しており、メリットデメリットを把握した上で再度また検討していく。
- ・少子化は教育を縮小する理由にはならず、今の子どもたちに何ができるかを大人が検討していくことが重要だ。
- ・ICT教育や遠隔教育などで少人数のクラスでも、教育環境を整えることができる。

【意見に対する市長の回答】

- ・将来の子どもたちだけでなく、今、小中学校に通っている子どもたちも大切である。
- ・今、小中学校に通っている子どもたちに何がいいのかを一緒に考えていきたい。
- ・経済的負担の平準化も含めて考えていきたい。

【事務局回答に対する委員の意見】

- ・エアコンについて、災害時に急遽エアコンをつけるようになるような無計画なことはやめてほしい。計画的に統合も合わせて進めてほしい。

【意見に対する事務局回答】

- ・体育館に空調をつける趣旨は教育活動を継続させるのが主となり、避難を想定したものではないことをご理解いただきたい。
- ・避難所に関しては防災部局と連携しながら、総合的に判断していく。

(4) その他

【市長への意見】

- ・児童も保護者もクラス替えができる学校を望んでいたが、今後の予定が未定になり、困っている。スピード感を持って取り組んでほしい。
- ・教育環境が整わないのでは転出を考えるといていた保護者がいた。自分もスピード感を持って進めてほしいと感じる。
- ・今、新設校を建てても 50 年後にはまた統合しないといけない児童数になるのではないか。人口を増やす政策も並行してやるべきだ。

5 その他

- ・次回の結城南中学校区新設校推進委員会の開催時期等は未定である。
- ・本日いただいた意見を踏まえ、再度精査して今後の結城市学校適正配置の検討体制について改めてお知らせさせていただく。

6 閉会